

日本ポリエチレン重包装袋工業会

会 長 児玉憲治 殿

日本ポリエチレンラミネート製品工業会

会 長 藤森明彦 殿

日本ポリエチレンブロー製品工業会

会 長 阪田俊雄 殿

平成18年4月21日

日本ポリエチレン製品工業連合会

会 長 藤森明彦

同 環境対策委員会

委員長 堀口 誠

容器包装の3Rに関する自主行動計画策定ご依頼の件

拝啓 春暖の候、貴工業会ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は連合会活動にご尽力賜り、心より御礼申し上げます。

さて、容器包装リサイクル法（以下「容リ法」）改正案が3月10日に閣議決定され、国会に上程されました。

昨年10月には、（社）日本経済団体連合会は、「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」という提言をとりまとめ、さらに本年3月28日には、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会他関係8団体が「容器包装に係るリサイクル8団体」を結成し、①事業者による3R推進に向けた自主行動計画及び②主体間の連携に資する取り組みについて、その概要を公表いたしました。（別添資料をご参照下さい）

当該自主行動計画は、目標年次を2010年度とし、本年4月から3Rに関する容器包装別取り組みを推進し、結果については毎年度検証し、公表するとあります。

プラスチック製容器包装のリデュースの目標は、「技術開発を継続し、2010年度までに2004年度実績比で3%削減する。」とし、『軽量化の推進』『詰め替え容器の開発』『包装の適正化促進』『ラベル貼付品目の削減』等を目標に業界ごとに取組む。」となっております。リサイクルに関しましても目標が定められています。

3Rに関する目標達成に向け当連合会も自主行動計画を策定し社会的責任を果たしていくことが求められます。

各工業会におかれまして、それぞれの自主行動計画を策定していただきたくご依頼申し上げます。策定過程におきまして、様々な問題、課題が出てくるものと思われれます。その場合には、環境省、経済産業省他、関連業界団体等にも働きかけ、より実効の上がるものにするべく進めていきたいと考えております。

次回の連合会環境対策委員会は、6月14日（水）に開催する予定にしておりますので、同日までに策定していただきたくご依頼申し上げます。

なお、VOC排出抑制に関する自主行動計画の取り組みは、プラスチック加工業界団体を取りまとめる日本プラスチック工業連盟（以下「プラ工連」）傘下で行うことになっておりますが、3Rの自主行動計画の取り組みに関しましても同様プラ工連傘下で行う方向で進めております。

敬具